

4月の輸入動向について

4月の輸入動向について

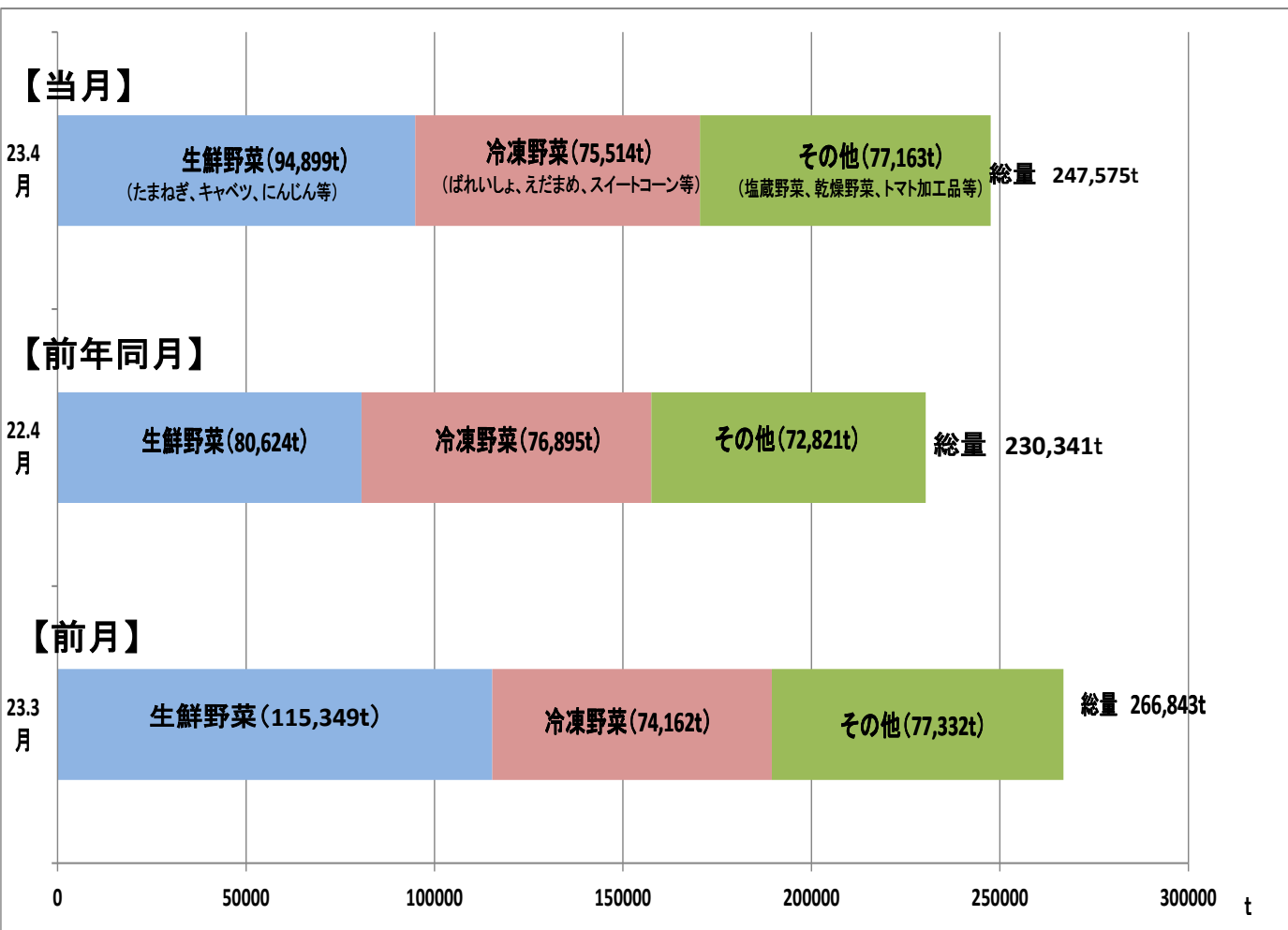
4月の輸入量を前年と比較すると、輸入量の多いたまねぎ、にんじんなどを含む生鮮野菜が前年比18%増の95千トンとなり、野菜の輸入量全体も前年比7%増の248千トンとなった。

一方、前月と比較すると、順調な国産野菜の供給をうけて生鮮野菜は前月比18%減、全体では同7%の減となった。

また、冷凍野菜の推移をみると、前年比2%減、前月比2%増の76千トンとなり、内訳をみると最も多いばれいしょが前年比15%減、前月比16%減となるなか、ほうれんそうは前年比86%増、前月比34%増の2千8百トンとなり、出荷制限指示の影響を受けて増加していることがうかがえる。

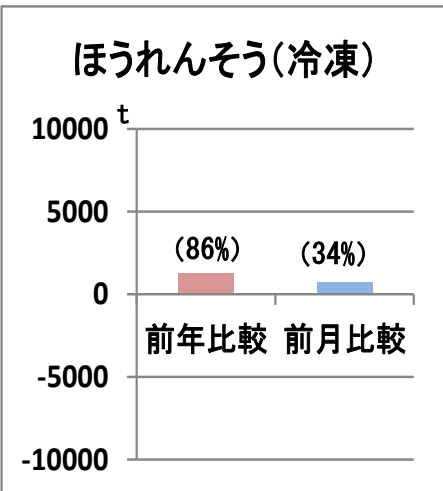
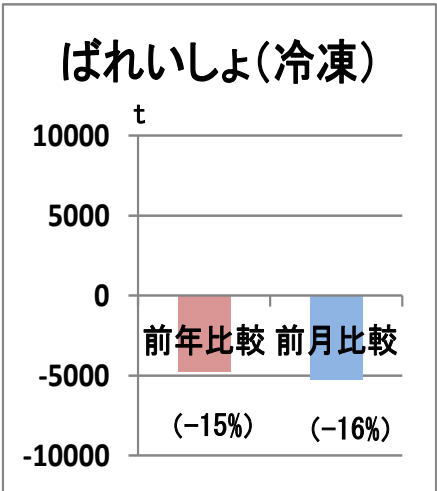
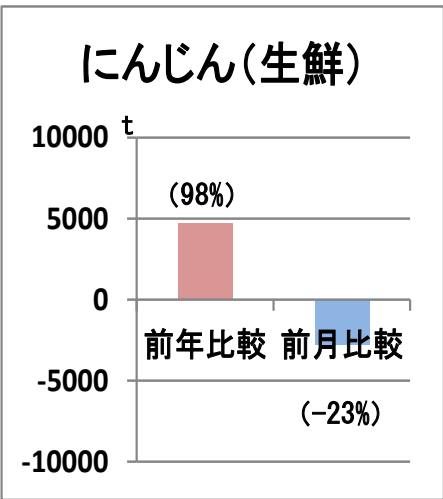
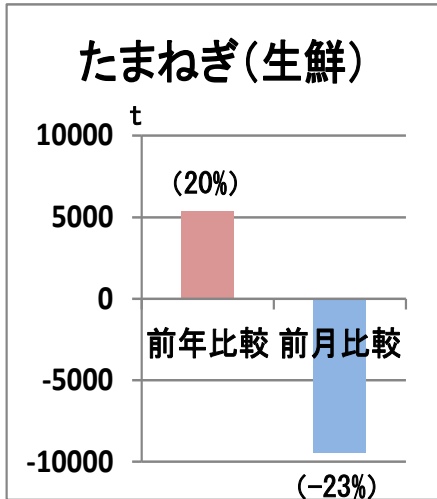
今のところ、ほうれんそうを除いて震災の影響は少ないと考えられる。

平成23年4月の野菜の輸入量、対前年同月、対前月比



資料: ベジ探 原資料: 財務省 貿易統計

主な輸入野菜の対前年、対前月数量の増減



《大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました！（直接契約課）》

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/v-suishin/vaiukyu01_000076.html

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484